

# 日本計量新報

計測と科学  
毎週日曜日発行  
日本計量新報社

東京都千代田区神田錦町3-11-8  
(武蔵野ビル)  
〒101-0054 TEL 03-3295-7871  
FAX 03-3295-7874  
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/  
振替口座 00140-5-12935  
購読料年間25,000円(消費税別)

定量計量専用機

## Pack NAVI

速くハカル、  
楽にツメル



Yamato  
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

### 今週の主な記事

- 第26回品質工学研究発表大会 精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞 ①面
- 第16回全国計量士大会での5地区からの報告⑥②③面
- クボタ計装創立50周年特集 ④⑤面
- 寄稿(白田孝) ⑥面
- NMS研究会報告、社説 ⑦面
- 新製品A&D、香川県計量職員募集、ほか ⑧面

## 第26回品質工学研究発表大会 6月27日(水)・28日(木)、タワーホール船堀で

第26回品質工学研究発表大会が、6月27日(水)・28日(木)の2日間、東京都江戸川区の「タワーホール船堀」で開催される。85件の発表がある。今大会のテーマは「あらゆる分野に評価でイノベーションを」。野島昌浩氏と折戸文夫氏による「知」の集積と活用による農業分野の技術革新。表彰式を開催するほか、論文賞、ASI賞受賞の記念講演がある。

### あらゆる分野に評価でイノベーションを — ロバスト性を測る品質工学 —

品質工学学会が主催する研究発表大会は、さまざまな分野の事例発表がある。発表件数、参加者ともに多く、同会の主要行事の一つである。品質工学学会は、あらゆる分野に、技術革新を進めたいと考えていることから、今回のテーマは「あらゆる分野の技術革新」による農業分野の技術革新。

### 招待講演は「農業分野の技術革新」

招待講演は、野島昌浩氏と折戸文夫氏による「知」の集積と活用による農業分野の技術革新。小池昌義大会実行委員長は、「品質工学学会が一般社団法人として生まれ変わって2回目の大会になる。昨年、品質工学学会は30周年に向けての改革運動『ビジョン30』を開始

### 改革運動『ビジョン30』の流れのなかで

小池昌義大会実行委員長は、「品質工学学会が一般社団法人として生まれ変わって2回目の大会になる。昨年、品質工学学会は30周年に向けての改革運動『ビジョン30』を開始



TANIITA デジタルスケール TL-280

農林水産省が進めている産学官連携プロジェクト「知」の集積と活用。新しい品質工学を見つけてください。周りの方と一緒に進めてください。

### 評価でイノベーションを起したテーマを集めた

発表の形式は、今大会も壇上発表とポスター発表となる。大ホールでは「100分」に評価でイノベーションを起したテーマを集めた

### 開催概要

【日時】6月27日(水) 10時30分~17時20分、28日(木) 10時15分~16時35分  
【場所】タワーホール船堀

### 懇親会

【懇親会】6月27日(水) 17時40分~19時40分、タワーホール船堀2階「瑞雲」(任意参加、懇親会費6000円が必要、懇親会への参加は不可)

### 参加申込み

【参加申込み】申込書に必要事項を記入し、FAX、郵便、ホームページから

### 申込先・問い合わせ先

【申込先・問い合わせ先】学会事務局(中山、金野) 110110051、東京都千代田区神田神保町2-8千代田ノースビル2階、電話03-6268-9355、FAX 03-6268-9350、URL: http://qs.gr.jp/

## 2018年度精密測定技術 振興財団品質工学賞論文賞

品質工学学会は、2017年に学会誌に掲載された論文10編から、2018年度精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞(金賞1編と銀賞3編)を選定した。

近藤芳昭(同)、田村希志臣(同)、西沢公夫(同) カミフルタ

高隆太(安川電機、正会員)、石田雄二(同)、長谷部光雄(のっぽ技研、正会員) △プラズマ切断機用トーチにおけるノズル冷却のパラメータ設計

細井光夫(同)、大谷敬司(元小松製作所、正会員)

【審査】▽裁判事例の分析による職場のパワーハラスメントの判断基準の検討 (Vol.25 No.3) : 佐藤誠(厚生労働省、正会員)、矢野宏(応用計測研究所、正会員) △リフ

田仲浩(コマツ産機、正会員)、近藤圭太(コマツ産機)、山口義博(コマツ産機、正会員)、齋尾克男(小松製作所、正会員)

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研

究」の論文を主とするが、広く世界に品質工学を紹介するにふさわしいと思われ、「実施報告」、「論説」、「解説」も対象としている。

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研

【金賞】構想設計への田中悠(同)、奥澤翔(同)、価 (Vol.25 No.2) : 日

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研

究」の論文を主とするが、広く世界に品質工学を紹介するにふさわしいと思われ、「実施報告」、「論説」、「解説」も対象としている。

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研

究」の論文を主とするが、広く世界に品質工学を紹介するにふさわしいと思われ、「実施報告」、「論説」、「解説」も対象としている。

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研

究」の論文を主とするが、広く世界に品質工学を紹介するにふさわしいと思われ、「実施報告」、「論説」、「解説」も対象としている。

品質工学学会は、American Supplier Institute (ASI) と協力して ASI 賞を授与している。ASI 賞は、前年の品質工学誌に掲載された「開発と研究」、「事例研